

# 全国高校総体

全国高校総体（インターハイ）は11日、札幌市北ガスアリーナ札幌46などで行われ、卓球女子団体の明徳義塾は準決勝で進徳女（広島）に3-2で勝ち、12日の四天王寺（大阪）との決勝に進んだ。明徳女子の決勝進出は3年連続。追手前の男女が出場した登山は、男子が17位で女子が21位だった。

# 明徳女子 決勝進出

# 男子複は8強ならず

柔道の女子個人戦は52kg級で横地萌恵（北海道・北海）が初の頂点に立った。57kg級は上野明日香（神奈川・桐蔭学園）、48kg級は足立美翔（滋賀・比叡山）が制覇。女子団体は佐賀商が初優勝した。

重量挙げの男子55kg級は泊幸太郎（京都・海洋）がスナッチ103kg、ジャーク127kgをマークし、トータル230kgの高校新記録で勝った。

バレーボール男子決勝は駿台学園（東京）が東山（京都）を3-0で下し、7年ぶり2度目の優勝を果たした。

卓球	北ガスアリーナ札幌46	男子ダブルス4回戦	藤原 藤元	111111 4280	明徳義塾
女子団体準決勝	進徳女	明徳義塾	3-1	12125113 101011411	田3
水	野3	井	2	111111 784	0石
渡	辺3	野	2	11611911 8118119	小
水上	野田1	野井	3	73611 111116	小福
中	本0	藤	3	5127 11411	工

中本杏	13111	岡本華	渡辺心	111119 1211	句坂恵
明徳義塾	3	望取	葉	111111 811111	唯馬
119	111111	鳥取敬	明徳義塾	111111 15	樹徳
愛	鳥取敬	明徳義塾	3	111111 15	1

## 精神力の勝利

明徳卓球部員の粘り強さと精神力には、ただ驚くしかない。2年連続準優勝の旧チームより小粒と言われ続けた選手たちが一戦ごとに成長し、ついに偉大な先輩たちと肩を並べた。

この日の準決勝の相手は昨年と同じ進徳女（広島）。スコアも同じ3-2となった。しかし昨年



は、シングルス5位の青井と日本代表の白山、さらにその2人が組むダブルスという3本の柱があった。今年のチームには絶対的エースがいない。それでも、全員が全力プレーで補い合う。準決勝は第1単の上田が、相手カットマンに苦しみながらもフルゲームを気力で奪った。向こうはこっちのミスを待っている。ならば、とにかく辛抱するだけ。あえて自分から打ちにいかず、冷静に、正確にリターンを続け、そして最後は相手が根負けした。

復の上田・水野、第2単の中本は敗れ、最終単

【女子団体準決勝 進徳女（明徳）第3単の渡辺 11右から2人目】が3-2で競り勝って決勝進出が決まり、喜ぶ明徳の選手たち（北ガスアリーナ札幌46）

「準々決勝の横浜軍人戦でも同じ状況だったの」と、重圧がかかる状況にも涼しい顔でプレー。3年の上田が「私だったら高1であんなことは絶対できない」と驚く精神力で、フルゲームの熱戦をしのぎ切った。

決勝の相手は3年続けて四天王寺（大阪）。上田は「一本一本取っていくだけ。高校卓球界の横綱にも、チーム一丸で真っ向から挑む。（井上太郎）」